

豊島 明子 先生

先生のプロフィール

【出身地】

岐阜県

【専攻】

行政法

【近年(2~3年)の担当科目】

行政法総論（基礎・応用）、法と人間の尊厳6

【好きな食べ物】

お好み焼き



〈豊島先生へのインタビュー〉

1. 先生の研究分野について教えてください。

行政法を研究しています。中でも、社会保障分野の行政の動きに関心があり、最近は特に、高齢者や障害者が直面する介護の問題や、生活保護の現状について研究しています。

2. 先生が研究分野に興味を持ったきっかけを教えてください。

きっかけは、自身の経験だと思います。私は今風に言えば「ヤングケアラー」で、障害者だった母を手助けしながら幼少期を過ごしました。その中で、社会保障や福祉に関する問題に興味をわいたのだと思います。いま思えばあまりにも素朴すぎるのですが、憲法25条について学びたいと思い、学部時代は憲法ゼミに入りました。でも、学部で受けた行政法の講義で「日々、国や地方自治体が行う行政活動は、基本的人権を実現しているのだ」といった話を聞くうちに、憲法的価値を実現する行政法も大切だと、気づかされました。

3. 先生の担当する科目、研究分野の魅力について教えてください。

社会保障は、行政の裁量にゆだねられている部分が大きいです。国がどこまでの財源を投じてどこまでの給付やサービスを行うのかは、行政の判断に左右される面が大きいです。でも、実際に、社会の中で弱い立場にある人々を助けられる分野でもあります。

また、裁判で勝訴すれば当事者を助けられる問題が多々あります。実際の裁判でどのような論理を立てれば原告が救われるかを考え困難な道をこじ開けていくと、時にはその道が開かれる場合があります。そうした法律論を組み立てるため、過去の判例や論文から学ぶべきことは、本当に多いです。実社会で、法学の論理を用いて人を助け、既存の法制度の問題点が明らかにされ是正されていくというのは、やりがいのあることだと思います。

4. 学生時代にがんばっていたことを教えてください。

サークルでの活動(=演劇)です。これは、私が大学1年生の秋ごろ、大学で出会った友人や先輩と一緒に立ち上げた劇団です。私は高校時代も演劇部でしたので、ぜひ大学でも演劇をやりたいと思っていました。するととても幸運なことに、同じ学内で意気投合する仲間と出会うことができ、みんなで新しい劇団を立ち上げるチャンスに恵まれました。

5. 先生の考える豊島ゼミの特徴を教えてください。

私のゼミでは、グループで発表してもらうことに、こだわっています。その際、最近の判例を読んで検討することに加えて、社会で今まさに話題になっているテーマを扱った論文を取り上げて、各テーマの理解を深めつつ議論を進めるようにしています。今年は、SNSと選挙や、行政の意思決定に関与するAIがもたらす問題などを取り上げました。

★プログレッシブ 豊島ゼミの実態！(2025年度ゼミ生14名)

★豊島先生のトリセツ

- ・学生の話をお身に聞いてくださる、とても優しくフレンドリーな先生です！
- ・わからないことがあれば気軽に質問ができる距離感であり、また学生が納得するまで丁寧に教えていただけます。
- ・趣味はライブ参戦というロックな一面も！？

日々や休暇中の課題

【日々の準備、課題】

1Qに2回の判例・検討論文に関する発表。
それに伴う事前準備。

【長期休暇課題】(夏季休暇)

自分が居住する自治体に情報公開請求を行い、その経験に基づいたレポートの作成。
(行政手続の勉強に大変役立ちます！)

活動内容

【ゼミのタイムスケジュール】

5分：アナウンス、近況報告
30分：担当班による発表
20分：各自で質問を考える時間
45分：質疑応答、先生からの解説

1Qで4つの判例、論文が紹介され班で1つ発表します。次週発表する班が質問班になります。

新1年生に何か一言！

ぜひ自分のやりたいこと、興味のあることを追求してください。勉強以外にもやりたいことを見つけて行うことをおすすめします。

人との出会いは大事です。自分の殻に閉じこもらず様々なタイプの人と出会い、人との出会いを数多く経験する方が成長できます。SNSのみでは自分と似たような人としか出会えないのではないかと危惧します。キャンパスでの人との出会いを、大切にしてください。